

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡市第2期展示場等整備事業 展	階数	地上2F
建設地	福岡県福岡市博多区沖浜町	構造	S造
用途地域	準工業地域 準防火地区	平均居住人員	4,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,336 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年9月9日
敷地面積	15,132 m ²	作成者	久米設計 柳下
建築面積	9,240 m ²	確認日	2019年9月9日
延床面積	10,654 m ²	確認者	久米設計 柳下



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.8

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	福岡のウォーターフロント計画のリーディングプロジェクトとして、海辺の環境及び既存周辺施設との調和を図り、エリアの新たな賑わいの中心となる施設づくりを目指す。	その他 0
Q1 室内環境	多目的な展示空間を実現するため、高耐久かつ吸音、騒音対策を重視した展示室を計画。ホワイエは居住性を重視した明るく開放的な環境としている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の景観に配慮しながら、内外が一体となって利用可能な休憩スペースなど新たな賑わいの中心となるよう配慮している。
LR1 エネルギー	利用人数が多いため施設上大きくなる使用エネルギーを適切に想定しながら可能な限り効率的なエネルギー計画としている。	LR3 敷地外環境 敷地外は緑化を中心に周辺に対して賑わいと潤いを与える施設づくりとしている。
Q2 サービス性能	ホワイエを中心に十分な広さと居住性を重視した明るく開放的な環境としている。	
LR2 資源・マテリアル	可能な限り有害物質が少なく再利用に配慮した材料を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される